



章刈十字軍の創始者足立原貴さんのトーク

任意団体 アースデイとやま2016実行委員会

# G7環境大臣会合 「環境市民フォーラム」開催と、 環境市民ネットワークづくり

一般助成

1年目

知識の提供・  
普及啓発

「環境市民フォーラム」関連の  
記事が、主要新聞6紙に掲載

25回

「市民サミット」「G7伊勢志摩サミット」で  
配布した「環境市民宣言」  
及び意見書の部数

750部

活動の全体目標に  
対する達成度

80%

## 課題

地球環境問題と普段の暮らしには、身近に感じられないという大きな溝がある。地球規模の問題解決に向け、地域においても関心を高め、積極的な関与を引き出す必要がある。

## 目標

G7環境大臣会合の富山市での開催を機会に、県内外のNGO・NPOをはじめ広く市民が集まり、共通のテーマに沿って話し合いを深め、自らの力で課題解決に臨めるよう、富山の市民力をエンパワーメントする。

## 活動内容

富山市で開催されたG7環境大臣会合に合わせ、市民によるもうひとつのサミット「環境市民フォーラム」を前日に開催した。事前に「オープンミーティング」を開いて地球環境問題についての理解を広め、フォーラム当日は基調講演・分科会・全体会を通して27人の講師と約200人の参加者などが議論を深め合った。その成果は「環境市民宣言」として市民や日本政府、G7各国に届けられ、「G7伊勢志摩サミット」にも参加、提言した。



盛り上がる話し合い  
生物多様性フォーラム

## 達成できなかったこと

テーマ別4フォーラムを事前に立ち上げ、自主的な活動をスタートさせることが、二つしかできなかった。時間とマンパワー不足、意図の伝達が不十分だったことが主な原因。

## 今後の展望

「環境市民宣言」の実現に向け、まず「市民プラットフォーム」の開設を目指した準備会を立ち上げる。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

「環境市民フォーラム」への延べ参加人数はスタッフを含め220人。所属団体数は専門分野や地域を超えて114団体以上を数え、顔の見える関係づくりとして県内外のネットワーキングへと広がりが期待される。

### 工夫

フォーラム参加者の議論を即日、「環境市民宣言」にまとめ上げるため、経験豊富なファシリテーターを配置。